

8mmフィルムとは？

昭和7年に誕生し、主に昭和30～50年代に家庭の動画記録として普及した映像フォーマットです。昭和40年にシングル8（エイト）という規格の8mmフィルムが発売され、その扱いが簡易的なことから爆発的に大衆に普及しました。8mmは音の無いサイレントの映像でしたが、昭和40年代後半になると、録音できるフィルムも販売されるようになりました。昭和50年代半ばになると、ビデオカメラが登場し映像記録の主流はビデオに移りかわっていきました。

撮影 8mmフィルムを8mmカメラに装填して撮影します。



8mmフィルム（撮影前） 8mmカメラ

撮影が終わったフィルムはカメラ屋さんに出します。

現像

撮影されたフィルムを薬品処理して映像を出現させます。
(専門業者が現像作業します。約1～2週間かかります。)

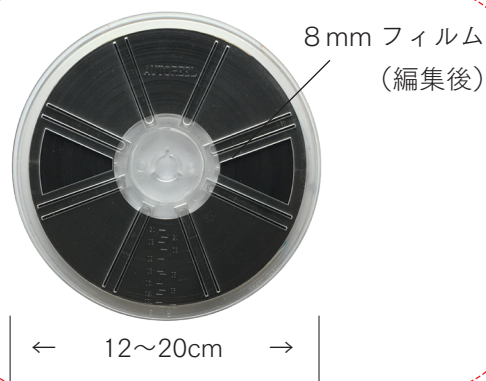
今回、この点線内のフィルムを集めます



8mmフィルム（現像済）

編集

フィルムを繋ぎ合わせる



そのままでも映写できます

上映

部屋を暗くしてふすまやスクリーンに投影して観ていました。



映写機

8mmフィルムは2種類

